



青い海、青い空、海岸段丘に広がる田んぼ

相川地区達者集落が当協議会に仲間入り!!



佐渡金山で有名な相川市街地よりおよそ6km北上した位置に「達者」があります。森鷗外の作品「山椒太夫」でもおなじみの「安寿と厨子王」ゆかりの里であり、母親と厨子王が「達者で逢えて良かった」と喜びあつたことから「達者」という集落名がついたともいわれています。また、達者海水浴場は透明度に優れた海で、きらきら光る海面や沈む夕陽に癒されます。人情に厚く、伝統を大事にするあたたかい集落です。

達者集落の田んぼは、県道上の海岸段丘に3ヶ所あり、海を一望できる素晴らしい環境にあります。山から流れ

るきれいな冷たい水と、海から吹く汐風で育ったお米は、香りが良く甘みがあり、冷めるとさらに甘みが増す特徴があります。このような条件で作られたコシヒカリを『お達者米』と名付けました。(商標登録済み)

「お互い達者でいましょうね」といったゲン担ぎの意味も込めて、味と名前を気に入っていただけると嬉しいです。

これまでの販売方法は、お客様からの直接注文、海水浴場直売所や佐渡ふれあい軽トラ朝市(相川商店街)での直売で、宣伝は口コミだけでした。どのように



現在の達者、わずかな量だがハゼ掛け米を作っている

達者海水浴場の直売所で「お達者米」振る舞い

昨年、達者海水浴場に開設した農産物直売所で、ぬか釜で炊いた「お達者米」の塩むすびを振る舞い、お米を直売しました。大好評でした。



昭和30~40年頃の達者、浜にハゼ掛けが並ぶ様子

育てた稲の一部は、達者浜と達者川沿いに造ったハゼに掛けて、汐風に吹かれて天日干しします。昭和30~40年頃、まだコンバインが普及していない時代には、達者浜にハゼが並んでいました。お米を売り出すなら昔ながらの作り方でやってみたいか、と達者農産が立ち上がりました。ハゼの設置や稲の運搬など手間がかかりますが、その分、収穫の秋に、多くの方に喜んで食べていただけるように汗をかくて頑張っています。自慢の「お達者米」をぜひ手に取っていただきたいです。

【お問い合わせ】
(農) 達者農産代表 三浦喜八郎
TEL 兼 FAX 0259-75-2363



青空の下、太陽と夕風を浴びる稲穂

棚田地域視察に参加して



月布施宮農組合 野井剛

11月9日~10日にかけて棚田地域視察に参加しました。

1日目は静岡県菊川市のせんがまち棚田を見学しました。最盛期には3000枚もの田んぼがありましたが、その後時代の変化に伴い、昭和50年代には枚数が激減。「先人達の築いたこの美しい風景を残したい」と地域の有志により「千枚田を考える会」が発足し、現在は「NPO法人せんがまち棚田倶楽部」と改称し、企業や大学と連携し、オーナー制度を取り入れながら棚田保全活動を行っています。市街地に近いこともあり、あぜ道アートやお月見コンサート等棚田を身近に感じてもらう活動も行われています。

現地に立つとその風景が頭に浮かび、日本の田んぼの原風景と歴史を感じる思いがしました。また、周辺には世界農業遺産にも認定された茶草場農法による茶畑が至るところにありました。さすが静岡、お茶どころ!



坂折棚田にて

2日目は岐阜県恵那市の坂折棚田を訪問しました。棚田を一望できる高台から見渡す谷間に石積み美しい景観が広がっており、思わず「わあすごい」と声をあげました。坂折棚田の特徴は、水田の大部分が400年前にできたこと、湧水を引いていること、手畔・清水口・暗渠がたくさんあること、米と麦の二毛作ができること、木や竹の桶を使っていること、棚田の周囲に人家が点在していることです。先人が築き上げた美しい棚田風景の保全のため、都市と農村が一緒になって四季を通して色々な行事に取り組んでいます。



せんがまち棚田



せんがまち棚田の見学風景



おにぎり定食

棚田見学後、「棚田なごみの家」でいただいた「おにぎり定食」はおいしいお米でした。

今回の視察では、地元の保存会の方や地域おこし協力隊の方に温かいおもてなしをいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

佐渡市地域おこし協力隊OB・OGの今

2016年4月から佐渡市役所でお仕事をさせて頂いています。現在は、高齢福祉課にて在宅サービスの窓口業務や地域づくりの担当をしています。



めっきり土に触れる時間、棚田でゆっくり過ごすことは無くなってしまったのが残念です。

それでも、隊員時代からお世話になっている岩首で過ごすことができ、またご縁があり集落の方とこの2月に結婚をしました。これからは仕事も頑張りつつ、ご先祖様から引き継いできた田んぼでの農作業を楽しむ時間を家族で作りたいと思っています。棚田に吹く風を感じながらしっかり腰を据えて佐渡で生活をしていきたいです。

みなさん、岩首でお待ちしています♪

元地域おこし協力隊 山崎（新田）聡子



美しい猿八棚田を眺めつつ、猿八地域の芸能にも触れてみてはいかがでしょうか。

棚田米生産地の一つ、猿八地域では3年前から集落にある神社で「共同舞台」が上演されています。会場となる越敷神社の拝殿は能舞台に転換できる構造になっており、舞台の約1週間前から準備が始まります。7月終わりの日没、篝火が灯された会場にサックスの音色が響き、能と人形が登場する場面では会場全体が幻想的な雰囲気包まれます。

地域紹介

棚田地域を紹介します
猿八・越敷(おしき)神社共同舞台



レポート

第1回会員ミーティングを開催しました！

島内の会員を対象に第1回会員ミーティングを開催しました。このミーティングは会員間の情報交換を通じて今後の活動の参考にしたり、地域間の横のつながりを深めることを目的に企画されました。

初回は、前半に片野尾とき舞(例)および小倉千枚田管理組合の代表者が活動事例をそれぞれ発表し、その後会場全体で意見交換をしました。

活動事例発表では会社の運営方法や大学生・新規就農者の受け入れ、棚田オーナー制度の概要や各種イベントの様子等について発表していただきました。意見交換では今年度新たに会員となった(農)達者農産の紹介や棚田米の販売について意見が交わされました。

参加者からのアンケートでは「また参加したい」という声が多く聞かれ、良い意見交換の場になったようです。今後もこのような会を定期的に開き、棚田地域のメリットを生かせるよう努めてまいります。



人間万燈まつり

10月29日・30日の2日間、佐渡市と姉妹都市の埼玉県人間市で開催された「第39回人間万燈祭り」にて棚田米とグッズを販売しました。棚田米計65kgを持参したところ、なんと1日目で完売。棚田米を試食された方からは「美味しい」、「地域によって味が違う」といった感想をいただきました。



なかには翌日に再びブースに寄ってくださった方も。お米が完売してしまったことをとても残念がり、その場で発送注文をしてくださいました。来年はより多くの方に佐渡の棚田米を知っていただけるようにたいくさんお米を持参したいと思っています。

活用ください♪ふるさと納税

佐渡市に寄附すると、佐渡の各種特産品がもらえることをご存知ですか？1万円以上の寄附で棚田米(2kg入)×2袋もお選びいただけます。佐渡市にふるさと納税をして、棚田米をゲットしたい方は以下を参照ください。

佐渡市にふるさと納税する

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の地域でチョイス>中部>佐渡市を参照！または、右のQRコードから！



佐渡棚田サポーターになろう！

佐渡棚田協議会では、佐渡の棚田の保全と一緒に考え、活動していくサポーターを募集しています。棚田保全に興味のある方、一緒に保全活動してみたい方など大歓迎です！！

【会員特典】棚田米2kgをプレゼント、会報誌(年2回)やイベント案内のお届けのほか、佐渡棚田協議会が主催するイベントへ優先的にご参加いただけます。
【年会費】個人会員3,000円 / 家族会員5,000円 法人会員5,000円

サポーター・協議会に関するお申込み・お問い合わせは
佐渡棚田協議会事務局へ(佐渡市農林水産課内)
TEL 0259-63-5117 / WEBサイト <http://sadotanada.com>

※年会費、会員特典等変更する場合があります。詳しくは事務局へご確認ください。

「第22回全国棚田(千枚田)サミットIN佐渡」のレポート公開！

2016年7月14日～16日に開催されたサミットのレポートを公開致しました。詳細は佐渡棚田協議会WEBサイトでご覧ください。



事務局便り

曇り続きだった佐渡の天気も次第に晴れの日が増え、少しずつ春を感じられるようになりました。

佐渡棚田協議会は今年で設立5年目を迎えます。棚田地域間の連携を図りながら、協議会として棚田のこれからを検討してまいりますので、今後ともよろしくお願いします。(K)



棚田情報をSNSでチェック！



佐渡の棚田米・オリジナル棚田グッズを販売しています！

平成28年産棚田米や佐渡オリジナル棚田Tシャツ&ポロシャツを通販サイトで好評販売中です！！

◆お問い合わせ：TEL 0259-63-5117(佐渡棚田協議会事務局)
◆通販サイトは「佐渡棚田協議会」で検索！

スマホも対応！



地産地消フェスタ

11月19日、地産地消フェスタにて棚田米の試食販売を行いました。地域別の食べ比べが好評で、試食コーナーには人だかりができるほどでした。試食された方からは「美味しい」とのお言葉をたくさんいただきました。また、生産者の説明に熱心に耳を傾ける若い女性の姿も。多くの方に棚田米を知っていただく機会となりました。



エコプロ2016

12月8日～10日に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2016環境とエネルギーの未来展」に出展しました。ブースには子どもから大人まで幅広い世代の方が訪れ、クイズや生産者との会話を通じて佐渡の棚田について理解を深めていました。持参した米も最終日にはすべて完売となりました。

